



国労東海

国鉄労働組合本部
東京港区新橋5-15-5
交通ビル7階
発行責任者 上野 力
編集責任者 一柳 弘一

低額回答は許さない

旅客・貨物組合員が一体で貨物支社前で総行動



貨物東海支社前で、貨物・旅客が一体となって、20春闘勝利に向けた集会を開いた

集会では、主催者を代表して上野東海本部執行委員長があいさつ。「消費税の影響や格差の拡大など労働者の生活は一層苦しくなっており、大幅賃上げが今こそ必要である。JR貨物は新人事・賃金制度を導入して

国労東海本部は2月26日、稲沢市の貨物東海支社前にいて、20春闘勝利に向けた集会を開催しました。貨物・旅客一体となって大幅賃上げを含む諸要求獲得に向けた諸行動に全力を挙げることを確認し合いました。

より収奪を強めようとしている。今こそ、貨物・旅客一体となって20春闘を勝利しよう」と呼びかけました。

集会では、静岡地本・植田書記長、名古屋地本・土谷委員長、新幹線地本・山崎委員長から決意表明が行われ、全国貨物協議

JR東海が回答

ベア800円(昨年比-500円)
夏季手当2・95カ月

JR東海は13日、国労に対して20春闘の回答を行いました(詳細は交渉情報を参照)。回答の内容は、「令和2年4月1日現在の35歳ポイントの基準内賃金を、標準乗数4相当の定期昇給とは別に、800円(0・25%)引き上げる」としています。また、同時に回答があった夏季手当については、2・95カ月、35歳ポイント959000円(国労試算、千円未満四捨五入)。国労は、ベアが800円(昨年比500円マイナス)だったことは、組合員、家族の要求に応えたものとは言えず、多くの社員を落胆させるものであること、夏季手当についても国労要求の3・5カ月に達せず大いに不満を述べて、持ち帰り検討としました。



静岡地本は2月28日、20春闘「静岡地方総行動」を展開。写真は富士地区労前での決起集会。記事は2面に掲載

会の星野議長からは情勢報告が行われました。

東海貨物協議会の鈴木議長は、「貨物会社に働く7割以上が平成採用者となっているが高齢者の退職が続くと職場が回らない状況がある。会社は、退職後再

きる道筋をつけることが使命だと感じている」と訴えました。

集会の最後に、貨物東海支社に向けて静岡地本・工藤青年部長を中心としてシュプレヒコールを行い散会しました。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209



オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共済火災海上保険(株)を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

貨物会社は大幅ペアを決断せよ

20春闘「静岡地方総行動」を展開



「静岡地方総行動」を展開する機関紙「国労静岡」

貨物会社は3月13日に国労要 求に対する20春闘の回答を行 いました。

回答の内容は 「昇給額表に記 載している等級 及び評価に応じた昇給を実施す るとともに200円を加える」

苦に何ら応えていないとして強

貨物会社 「ペア・ゼロ」回答

ととずる」としたペア・ゼロ回 答でした。

国労は回答の席上で、社員と 員からは落胆と怒りの声が上がっ ています。

本部は回答に対して抗 議の取り組みを3月23日 まで行うことの指示を發してい

2月28日、20春 闘・静岡地方統一 行動を静岡駅地下 道・JR貨物静岡 総鉄と富士駅前で 行いました。

この後、富士地 区労前での決起集 会では、若原委員 長が「これからも 共闘の仲間と一緒 に闘いをすすめて いく」と決意表明 をしました。

（国労静岡）第8 37号より抜粋

闘での大幅なペア 獲得が必要である」と 訴えました。

この後、静岡総 鉄前でJR貨物に 対して、ペアの完 全実施と要求実現 を訴え、小海静岡 支部長のリードで 「JR貨物は大幅 ペアを決断せよ」 等とシュプレヒコー ルを唱和しました。

美濃太田車両区火災労災につ いて、地本が解明要求を申入れ た。会社は緊急措置として、職 場にはライターなどの火器持ち 込み禁止としたが、その時だけ の対応が目立つ。労働者の安全 を守るための方策が必要だ。

リニア工事について陥没事故 の説明が十分されていない状況 で、地域と連携して鉄道の安全

（前号からの続き）

東海本部第39回委員会 での委員の発言から （要旨・発言順・敬称略）

大矢憲孝（名古屋地本）

新型コロナウイルスの対応について、今 までは接客業務ではマスク着用 が認められていなかったが認め られるようになった。これを機 にマスク着用が継続的に認めら れるようになるべき。



東海本部第39回委員会で発言する 新幹線地本の山手委員

のため運動を強めたい。

長田久司（新幹線地本）

電気所では若手が退職してい く現状だが、若手社員と交流を 続けて職場の問題なども聞いて いる。このつながりから組織拡 大につなげたい。また、職場の 再編が計画されており、検査の 一部もアウトソーシングされる 計画もある。

分会の第一の要求が不当配転 の組合員を大阪地区に戻すよう に求めてきた。組織の再編に合 わせてなんとか戻れるよう に運動を強めたい。

安全対策の一つの熱中症対策 について、空調服の配備が保線 は各人に配備されたが電気所は 共用となっていたので、各自に 配備するよう求めてきた。本年

同から個人配備となる予定。こ れまでの運動の成果だと考える。

山手次敏（新幹線地本）

分会の統合が実施され東京車 両所と三島車両所が統合された。 組合員は48人だが、専任社員が 28人で年々運動も難しい。

通勤バスの運行状況がアプリ で確認できるようになった。こ れまで要求してきたものが実現 した。今年も職場要求実現に向 けて話し合いなど職場での運動 を強化したい。

柴田智（新幹線地本）

新幹線名古屋分会でも専任社 員が多いが、賃金が低く生活は 楽ではない。専任社員の労働条

件の上を表現させたい。

電気職場の再編について、新 生テクノスに向中だが、電力 と信通では仕事内容が違い、関 連会社の業務がどうなるか不安 だ。

大前正樹（名古屋地本）

利用者アンケートにより会社 の対応は変わらないが前進面も ある。東海本部として利用者ア ンケートを基にした会社との交 渉についての方向性を示してほ しい。

職場協議会について休止方針 だが、今後の運動の進め方につ いて説明する必要があるのでは ないか。

これからの医療の進歩を見据え、 「生きるためのがん保険」を 新しくします。

★アフラックはがん保険 No.1

NEW/ 女性特約のにも不要い

生きるためのがん保険 Days 1

NEW/ あなたの健康を最新生

生きるためのがん保険 Days 1 プラス

すでにアフラックの がん保険に加入しているお客様

●契約年齢は70歳未満

（生きるためのがん保険Days1）スタンダードプラン入会時付金10,000円
標準報酬・年収（既がん者・がん再発患者等）は10万円

診断 一診あたり 50万円 （がん） 5万円 （がん）	手術 1回につき 20万円	がん 先進医療 15万円
特定診断 一診あたり 50万円 （がん）	放射線 1回につき 20万円	がん 先進医療 15万円
入院 1日につき 10,000円	抗がん剤 ホルモン剤 10万円（抗がん剤） 5万円（ホルモン剤）	がん 先進医療 15万円
通院 1日につき 10,000円		がん 先進医療 15万円

■所属代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）
アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

（引揚保険会社）
「生きる。」を創る。
アフラック
東京第二法人営業部
東京都中央区新富1-1-1 新富ビル1119
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2058